

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終了する2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	堺市立病院機構職員宿舍等整備事業	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市西区津久野町1丁目29番	構造	RC造
用途地域	第一 中高層住居地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校、工場、集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年11月14日
敷地面積	5,258 m ²	作成者	松本拓也
建築面積	1,152 m ²	確認日	2014年11月15日
延床面積	2,829 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	94%
③上記+②以外の	94%
④上記+	94%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> 多数の中高木、緑地を設置し、敷地内の緑化に努めている。 高効率の設備機器を設置し、建物の省エネルギー性に配慮している。 		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> 庇・ブラインドで、昼光を制御している。 内装材には、F☆☆☆☆を採用し、空気質汚染の防止に努めている。 基準以上の換気量を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> 防汚性の高い、内装材を採用し建物の維持管理の向上に努めている。 耐用年数の長い、外壁・内装仕上材、空調・換気ダクトの採用。 壁長さ比率は0.20で、招待的な空間の形状・自由に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 40%を超える、外構緑化指数を確保している。 250本を超える、中高木を確保している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 建物の熱負荷抑制に努めている。 LED照明など、高効率設備機器の採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> OAフロアの採用など、建物のリサイクル性に配慮している。 防水工事のプライマーなど、化学物質の使用削減に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> LCCO₂排出率は94%と、基準以上の地球温暖化防止への配慮を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	堺市立病院機構職員宿舍等整備事業	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区津久野町1丁目29番	1	B+
	主用途/延床面積	集合住宅 / 2,829.13 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.2	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.1	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.4	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		1.0	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		3.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
LED	LED照明の採用
特に配慮した事項	